

25年度地方局予算の概要

【TOYOものづくり産業支援事業 2,400千円（21～26年度）】〔継続〕

生産工程の改善、新製品の開発や新市場の開拓、新たな受注先の開拓などに積極的にチャレンジしようとする企業や経営者を支援し、ものづくりを基軸とした足腰の強い産業基盤の形成を図る。

- 1 ものづくり生産現場診断・指導事業（産業支援機関に委託）
大手企業OB等でチームを組んで、生産現場に特化した診断を行い、ロスを減らし利益を確保できる経営体質となるよう指導を行う。
- 2 次代を担うコア企業経営者育成事業（産業支援機関に委託）
次代を担う若手経営者を育成するとともに、その成果発表会などを通して、やる気のある経営者の輪を東予地域全体に広げる。
- 3 TOYO産業ネットワーク（T-NET）会議の開催
産業支援機関など、ものづくり産業に関わる各種機関等が一堂に会して、それぞれの地域や機関が抱える諸課題について協議・情報交換を行うほか、上記事業の成果を地域全体に波及させる。



【即戦力・就農チャレンジ支援事業費 1,500千円（24～25年度）】〔継続〕

東予地域の企業従業員には、退職後、担い手となる可能性のある兼業農家が多いが、就農促進・支援対策はなかった。そこで、企業内の潜在的な担い手予備軍を掘り起こし、就農への動機付けを行うほか、就農サポート体制を整備することで、新たな担い手の確保・育成を図る。

- 1 就農チャレンジサポート体制の整備
農業指導士や関係機関等による退職後の就農サポート体制を整備し、営農計画や作物の相談、情報提供を実施する。
- 2 「農の卵」発掘活動（企業退職者の潜在候補掘り起こし）
企業の退職予定者等を対象に、セミナーの参加者を募集し、現状や退職後の就農予定等をもとに、担い手候補者リストを作成する。
- 3 「農ある暮らし」応援セミナー（企業退職者就農準備セミナー）
 - (1) 応援セミナー
地域農業の現状や農政、農薬等の基礎知識、先輩農業者の体験談等を紹介し、就農を啓発する。
 - (2) 体験交流会
先輩農業者の栽培ほ場の視察や意見交換を実施する。
- 4 参入企業等のネットワーク活動支援
 - (1) ネットワーク連携会議
参入企業のネットワークの自立に向けた連携会議や研修会を開催する。
 - (2) 参入企業等のフォローアップ



25年度地方局予算の概要

【たまみ産地化推進事業費 888千円（25～27年度）】〔新規〕

しまなみ地域で栽培が始められている「たまみ」は、2月に販売できる温州みかんタイプの中晩柑として期待されている品種であるため、生産技術等の実証と販売方針等の検討を行い、しまなみ地域全体への普及を図るとともに、多様な品種のかんきつを有する産地として活性化を図る。

- 1 産地化対策検討会等の開催
生産技術や直販等の販売戦略等を検討し、産地化に向けての意識の統一を図る。
 - (1) 産地化対策検討会
 - (2) 販売戦略検討会
- 2 生産技術の実証
栽培技術の確立を図るための現地実証を3年間実施し、農家へ技術を普及する。
 - (1) 安定生産技術対策
 - (2) 果皮障害、褪色、防鳥対策
 - (3) 収穫後の品質保持対策



【かき新品種太天産地化推進事業費 605千円（25～26年度）】〔新規〕

かき新品種「太天」は、極めて大果で食味が良く、高価格販売が期待できる。現在、周桑地域の一部で産地化が始まったところであるが、生産技術等の実用化や販売戦略の確立が強く望まれているため、地域に適した生産・流通技術等を確立し、ブランド化を図るとともに、東予地域のかき産業の活性化を図る。

- 1 産地化対策検討会等の開催
生産技術や販売方法等を検討し、地域全体での産地化に向けて意識統一を図る。
 - (1) 産地化対策検討会
 - (2) 販売戦略検討会
- 2 高品質維持の生産流通技術の実証
栽培技術や脱渋技術を2年間で確立し、栽培技術マニュアルを作成するとともに、集出荷体制の整備や出荷期間の延長方法を検討し、有利販売を目指す。
 - (1) 高品質果実生産技術の実証圃を設置
 - (2) 高品質生産技術のマニュアル化（H26）
 - (3) 効率的脱渋技術の改良
 - (4) 年末商品とするための鮮度保持技術の開発



25年度地方局予算の概要

【東予地域資源活用促進事業費 9,644千円（23～25年度）】〔継続：一部新規〕

東予地域に交流人口を呼び込み、地域を活性化していくことは、中予・南予地域にも波及効果が及び、県全体の観光・地域づくりに非常に有用なものである。

東予地域は、「しまなみ海道」、「別子銅山産業遺産」という世界に誇れる地域資源を有していることから、これらを核とした取組みを促進し、交流人口の拡大及び観光振興を図る。

1 近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

(1) 東予地域近代化遺産等保存・活用協議会等

別子銅山関連遺産群を始めとする近代化産業遺産について、管内市町等と連携し、地域活性化資源として保存及び活用方策等を協議。

(2) 別子銅山から紐解く地域交流パネル展〔一部新規〕

別子銅山産業遺産についての認識を深め、地域間交流の促進を図るため、歴史的にゆかりの深い県外や、管内4市1町において開催。

(3) ものづくり産業遺産体験学習事業(東予地区中学生等対象)

(4) 産業遺産Jrマイスター養成事業(東予地区高校生等対象)

高校生の修学旅行案内人や中学校の出前講座での講師等を養成。

(5) ものづくり産業遺産魅力発掘事業〔新規〕

産業遺産を拠点として、現役の産業施設(工場等)、歴史・文化施設(歴史資料館等)、食育施設(農園、産直市)を遊学する「遊学ダイヤグラム」を作成。



2 しまなみ周遊サイクリングの普及

(1) しまなみ周遊サイクリング普及事業連絡会議

自転車による周遊・滞在型旅行スタイルを普及させるための情報交換や事業の円滑な実施方策等を協議。

(2) サイクリストの宿認定事業〔新規〕

自転車の安全な保管等、サイクリストが必要とするサービスを提供する宿泊施設を「サイクリストの宿」に認定し、全国へ情報発信。

(3) ファンライド情報発信フェイスブック「しまなみFUN★RIDE(仮称)」作成事業〔新規〕

サイクリストから見たしまなみエリアのファンライドの魅力や、お役立ち情報をフェイスブックに立ち上げ、継続的に全国へ発信。

(4) サイクリスト向け商品開発・販路開拓普及事業

サイクリストをターゲットとした土産物の商品開発や販路開拓を支援。



3 東予地域広域観光の推進

(1) 東予地域広域観光推進会議

観光関係者が情報交換を行うとともに、広域観光の推進方策等について協議。

(2) PR用リーフレットの作成・配布

マイカー利用観光客等を対象としたリーフレットの作成と配布。

(3) 旅行業者等へのPRと働きかけ

(4) 東予地域産業観光推進プロジェクト

観光資源としてのPRとブラッシュアップを図り、今後の商品化の方策を検討するため産業観光モニターツアーを実施。

